

週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
(詩編 37 編 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ~10 時
祈 禱 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第3・午後2時)
●夕の祈禱会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 042-742-1593
FAX. 042-742-1393
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
00290-4-80707

3206 2026 年 4 月 19 日

礼拝式順序

(復活節第3主日)

司 式 者 井 殿 準
奏 楽 者 岡 野 和 美

前 奏		奏 楽 者
招 詞	詩編 103:1~5	司 式 者
讚 美 歌	355 「主をほめよ、わが心」	一 同
聖 書	詩編 23 編 (旧 P. 854) ヨハネ 10:7~18 (新 P. 186)	司 式 者
使徒信条	(93-4-A)	一 同
祈 禱		司 式 者
讚 美 歌	120 「主はわがかいぬし」	一 同
説 教	「もしも私が羊なら」	司 式 者
祈 禱		”
讚 美 歌	459 「飼い主わが主よ」	一 同
献 金		”
主の祈り	(93-5-A)	”
頌 栄	27 「父・子・聖霊の」	”
祝 禱		司 式 者
答 唱	40-6 「アーメン」	一 同
報 告	~ 「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう~	司 式 者
讚 美 歌	92 「主よ、わたしたちの主よ」	一 同

- ・当教会では讚美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。

先週の説教要旨

「疑う者は祈ろう」

(ヨハネ 20:19~29)

復活した主イエスと出会って、悲しみのどん底にいた弟子たちの心は一変し、「わたしたちは主を見た」「主は復活なされた」と喜び合ったが、復活した主と出会っていないトマスは、「この指を釘跡に入れてみなければ……わたしは決して信じない」と言い張った。

トマスは、祭司長やファリサイ派の人々を恐れてエルサレムに近づくことを躊躇う弟子たちに「わたしたちも行って、一緒に死のうではないか」と述べるほどの熱血漢であり、トマスには主イエスを想う気持ちでは誰にも負けないという自負があったに違いない。主の死はトマスにとって深い悲しみであり、主の復活を喜びたい気持ちは山々であったはずだ。しかし、復活の知らせをにわかに信じることは彼にはできなかった。信じたいけど、信じられないという思いを抱えながら、弟子たちの間に留まっていたのだ。

主イエスはトマスの疑いを受け入れ、「あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい」とおっしゃってください (27 節)。「この指を釘跡に入れてみなければ」と頑ななトマスであったが、いざ「手を入れてご覧なさい」と言われると、指を入れて確かめることをせずに、信じる者となった。どうしたら、このように信じる者となることができるのだろうか？

復活の主と出会った人々の中には、自分から復活の主を捜し当てた者は一人もいない。しかし、求める者には与えられるのだ (マタイ 7:7)。疑い迷うトマスも、そうやって与えられた一人であった。同様に、もし我々が復活の主と出会うことを祈り求めるなら、復活の主は必ず我々のもとを訪れ、我々を喜びで満たしてください。そして、我々はその喜びに押し出されて、力強く生きて行くことができるようになる。

我々は様々なことで迷ったり、不安を覚えるが、何より大切なのは、主イエスに繋がっていること、教会に繋がっていること、そこに留まって祈り続けることだ。たとえ疑うことがあっても、復活の主は求める者のもとを必ず訪れ、信じる者とさせ、その者を力強く生きることへと導いてくださる。そのことを信じ、そのことを求めて、これからも祈り続けて行こう。